

がんばろう 南三陸町 復興第65号

南三陸マイタウン月刊情報

発行所 千葉総合印刷株式会社 本吉郡南三陸町志津川字沼田 150-84 TEL(46) 3069 FAX(46)3068 志津川広報センター 企画・編集 千葉伸孝

歌津「しおかぜ球場」から「楽天イーグルス平成の森球場」へ



プロ(イースタン)のプレーに約2500人の声援響く!

6月18日(日)の12時から、2017イースターリーグ公式戦の楽天ゴールデンイーグルスVS北海道日本ハムファイターズが、南三陸町平成の森球場で開催された。



佐藤町長の歓迎挨拶では、「甲子園球場と同じ土と、コボパーク(楽天イーグルス)と同じ芝を使用した、楽天イーグルス平成の森球場のこ

けら落としの試合です。」と話した。改修仕事を終え真新しい球場には、これまでの集客人員の最多となる2556人の観客を迎えたと、河北新報は報じていた。

バックネット裏と1塁3塁の内野席は満杯となり、外野の芝生席も多勢の楽天ファンで埋めつくされた。緊迫した試合は前半・中半と日本ハムの2本のホームランで3点差を追う流れから、後半に追加点を取られ1点を返したものの「1-5」で楽天は敗れた。

試合のセレモニーでは、南三陸のわかめが両チームの選手に贈られた。国家斉唱では、「みき

ベイビーさん」の歌声が球場に広がった。始球式では南三陸町少年野球クラブの佐々木君と、西宮副市長の投球に観客から盛大な拍手が送られた。

野球ファンは勿論、子供連れの家族や若いカップルが心地よい潮風の中でプロのプレーに見入り、外野席では野球好きの家族が芝生に陣取り、声援を送る姿があった。ファールボールが飛ぶたびに、観客はそのボールを追っていた。ファールボールはプレゼントとあり、観客の楽しみでもあった。

平成の森周辺は、試合を見に来た来町者の車でいっぱいとなり、シャトルバスが何回も球場を往復していた。「ハマレ歌津」も、一部専用

駐車場となり、多くの来町者で沸いた。楽天選手・スタッフは帰りに、さんさん商店街で買い物をしたり、来町者と握手して交流した。



(門内) 慈眼寺の佐々木邸 住居移転のお知らせ

東日本大震災の未曾有の大災で本堂・庫裡等総てが流出し多くの檀信徒が逝去されました。大震災にあたり、心温かいお励ましのお言葉や物資共々のご支援を頂き本当にありがとうございました。

お陰様にて、この度戸倉団地内に自宅を新築移転と相成りました。

今後は本堂の再建を目指してまいりますので、今まで以上のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年7月

〒986-0781 宮城県本吉郡南三陸町戸倉字沖田 53-113

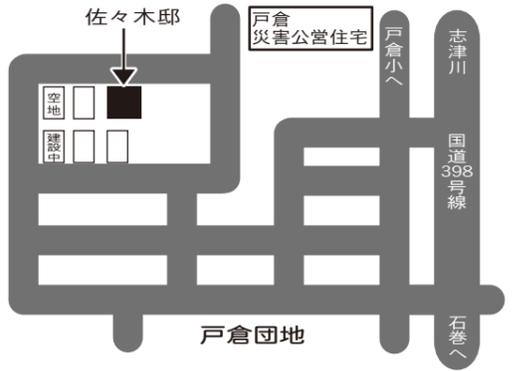
圓通山 慈眼寺

住職 佐々木 泰 淳

電話 090-1936-6239

副住職 佐々木 亮 淳

電話 090-1496-3784



中学校総合体育大会

(南三陸町の成績)

野球 ■1回戦 気仙沼5-2志津川 唐 桑7-6歌津

バスケットボール【男子】■1回戦 歌津55-36松岩 志津川59-51津谷 ■準決勝 志津川46-33歌津

■決勝 志津川61-52面瀬 =志津川県大会へ

【女子】■1回戦 松岩43-28歌津

■2回戦 志津川108-19鹿折

■準決勝 志津川92-24条南

■決勝 志津川67-40津谷 =志津川県大会へ

バレーボール【男子】志津川2-0松岩 面瀬2-0志津川 ②志津川

【女子】■予選リーグ▷1グループ 志津川2-0気仙沼 志津川2-0松岩

▷2グループ 歌津2-0唐桑 面瀬2-0歌津

■決勝トーナメント▷1回戦 志津川2-0条南 新月2-0歌津 ▷準決勝 志津川2-1新月 ▷決勝 津谷2-1志津川 =津谷、志津川県大会へ

卓球【男子】■団体▷予選Aリーグ①志津川 ■決勝トーナメント1回戦 志津川3-0唐桑 ▷準決勝 志津川3-2新月 ▷決勝 面瀬3-1志津川 =県大会へ

◇個人②山内柊翔(志津川)

【女子】■団体▷予選Aリーグ①歌津 Dリーグ②志津川

■決勝トーナメント1回戦 条南3-2歌津 鹿折3-0志津川

◇個人③鎌田美波(歌津)⑤三浦ゆう(歌津) =県大会へ

サッカー ■予選▷Aブロック 条南1-1志津川 気仙沼6-0志津川 志津川5-2津谷

Bブロック 新月5-0歌津・鹿折 歌津・鹿折4-0松岩 歌津・鹿折1-0大谷

③歌津・鹿折

柔道【男子】■団体 志津川 =県大会へ

◇個人▷50kg以下級③山内楓(志津川)④遠藤陸人(志津川)

▷55kg以下級①佐藤璃玖(志津川) =県大会へ ②小山拳士郎(志津川)

▷中量級②鈴木陵(志津川) 60kg級県大会へ

▷重量級①佐藤光(志津川) =90kg級県大会へ ②高橋巨夢(志津川) =90kg超級県大会へ

【女子】◇個人▷70kg超級 菅原七海(志津川) =県大会へ

剣道【男子】■団体 ①歌津 =県大会へ

③志津川

◇個人②阿部修大(歌津) =県大会へ ③阿部誠司(歌津)

【女子】■団体 ②歌津 ③志津川

ソフトテニス【女子】■団体▷予選Aリーグ②志津川

▷決勝トーナメント 松岩2-0志津川

(講演会を聴いて) 6月27日ケアセンター

糖尿病が引き起こす病気

私は旧志津川病院で笹原先生に「糖尿病」と診断され30年余りが経過し、さとう徹内科様でインスリン治療を受け5年が経とうとした時、東日本大震災で投薬を失い、大混乱の中で5ヶ月目を迎えた時に、背中ケガが化膿し志津川小学校の診療所で笹原先生と出会い傷を切開した。血糖値は異常な数字となっていた。

今回、町で行われた東北大学病院児玉真二郎先生の「糖尿病治療の目的とは～糖尿病が引き起こす怖い病気～」と題された、糖尿病予防講演会を聴きこの病気の怖さを再確認した。

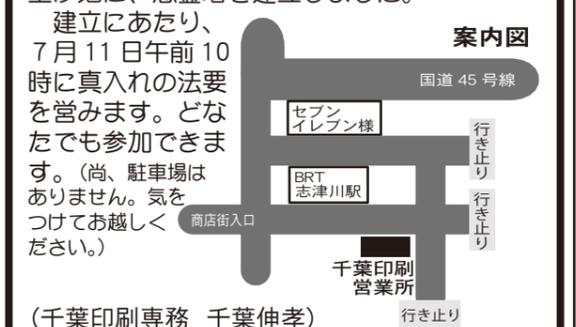
この日の内容は①糖尿病とはどんな病気?②糖尿病の合併症・歯周病・認知症・癌について③糖尿病の正しい治療とは?だった。

生活習慣病としての糖尿病は、外観的に大きな変化はないものの、私は異常な喉の乾きで初期の症状から、相談に病院の先生を訪れた。早期の病気の確認と治療に本気である事で、糖尿病との長い付き合いになっている。[次号に続く]

千葉印刷・本浜跡地慰霊塔建立 真入れ法要7月11日(10時)開催

志津川市街地低地部の土地引き渡しを終え、千葉印刷所が所在した本浜町跡地の土地の高上げ地に、慰霊塔を建立しました。

建立にあたり、7月11日午前10時に真入れの法要を営みます。どなたでも参加できます。(尚、駐車場はありません。気をつけてお越しください。)



(千葉印刷専務 千葉伸孝)

本浜営業所 営業時間

土曜日 午前10時～午後3時 日曜日 午前10時～午後3時

連絡先 080-1801-6399 (問い合わせ先 千葉伸孝)

高校生(友達二人で)アルバイト募集

土日のみ(AM10時～PM3時)・女性・パソコン使用

未来への教訓

復興！ 大津波の記憶を風化させない

平成29年(2017年)
～ 地元報道より ～

3月の出来事

南三陸町

◆第17次復興交付金が、6事業約24億5千万円と認められた。市街地区画整備事業などに使われる。

◆JAN南三陸と南三陸町は、高齢者のための見守りの取り組みに関する協力協定を結んだ。

◆南三陸町の17年度予算は一般、特別、公営企業会計など合わせて約400億円で、前年度と比べ4割減とした。

南三陸町議会の「議会行政改革に関する特別委員会(山内孝樹委員長)」が開催され、議員定数について協議を重ねてきた。人口の減少は2010年の1万7429人から、15年には約3割が減った。人口に見合った定数が課題となっていた。委員15人が出席し、7割が現状維持を指示した。「復興が終るまで思わしくない」などの声もあった。

◆南三陸町のさんさん商店街が仮設から本設となり、3月3日正午にオープンした。「南三陸まちづくり未来」の三浦会長や町長など関係者120人が出席し、テープカットに続き園児が風船を飛ばし開業を祝った。

◆南三陸町・気仙沼市で、防潮堤が51カ所で見直しをする。沿岸の地盤隆起が発生し、県が再測量へ。

◆南三陸町佐藤町長は、3月定例議会の佐藤宣明氏に11月の町長選への続投の考えを問われ、4期目の意欲を示した。

◆南三陸町は2日防災訓練を行い、避難誘導や消火整備確認など「モアイ号」を使い防火訓練をした。

◆10日から南三陸町歌津伊里前地区の国道45号が新ルートへ移行する。

◆農林中央金庫は南三陸町森林組合と連携して、南三陸町の国際認証の町産木材を活用したテーブルと椅子を、商店街活性化に役立ててと贈った。

◆南三陸町は児童・生徒の健全な学校生活を送れるよう、行政・学校・警察などが連携して「いじめ根絶」を目指し、問題対策連絡協議会を立ち上げる。

◆東日本大震災から6年目を迎え、11日に七回忌となる追悼式典が営まれ1100人が参列した。佐藤町長は式辞で「創造的復興を遂げたい」と誓った。

◆全国児童才能開発コンクールの「作文の部」で全国一位の最高賞の文部科学大臣賞を、南三陸町立入谷小学校6年の三浦なぎささんが獲得した。

◆12日午後5時18分に南三陸町志津川地区の廻館前に移設した、防災庁舎の献花台の一部が燃えた。香炉付近から出火し、近くにいた人たちがペットボトルで水をかけ、消防隊が到着する前に消し止めた。

厚生労働省近畿厚生局麻薬取締部(大阪府)は15日、南三陸署交通課長三浦章容疑者(52)を医薬品医療機器法違反の疑いで逮捕した。危険ドラッグ5gを自宅宛に郵送で購入した容疑。

◆南三陸町入谷小学校の校庭の3分の2を占めていた、仮設住宅の撤去工事が完了し、16日からの学校の授業で開放された。

南三陸町歌津の平成の森球場のラバーフェンスへ掲載の企業広告を募集する。大きさは高さ1m幅6mで年間4万8千円で、今年は期間に満たないため4万1424円となった。申し込みは町企画課のHPで。締切りは4月14日5時までに申し込む。

◆三陸道の「南三陸海岸IC」が20日から共用を開始する。志津川ICに続き3k区間の志津川地区内のインターチェンジの整備を完了する。

◆志津川高校で新年度から「防災クラブ」を新設する。地域の防災リーダー育成により、「災害に強い町」に若い力の活動が期待されている。

南三陸町の災害復興公営住宅の建設の最後となる志津川中央団地(集合タイプ115戸)が、20日完成し、入居する宮川さん(77才)に鍵のレプリカが贈られた。これで町の住宅再建は震災から6年で終了となった。

◆被災3県の味を一堂に会した「復興グルメF-1大会」が26日南三陸町志津川魚市場で開催された。

◆南三陸町のポータルセンターに、台湾からの温かい激励のメッセージが130点展示された。

三陸ワカメの5回目の入札が22日におこなわれ、在庫不足により高値で、集荷量も順調な伸びをみせている。塩蔵ワカメは10kあたり9554円と9千円台を維持している。最高高値は3千円も高い1万6399円の値がついた。

◆南三陸町議会は、議員提案の「南三陸町議会基本条例」を承認して終えた。

◆南三陸応援団の交流イベントが、19日南三陸プラザで初めて町内で開催された。2015年4月発足し、19日現在で約2400人が登録している。

◆4月23日「ハマレ歌津」のオープンに向け、20日に各店へ鍵が引き渡された。新店舗は昨年の10月に着工式が行われ、順調に工事が進んだ。

◆南三陸町地域資源プラットホーム設立準備委員会(委員長最知副町長)は、森林・漁業・農業・観光・環境など、町の施策に取り入れてと、町長に提言書を手渡した。

◆南三陸町は年度内に住宅再建事業が終了することで、「復興事業推進課」を廃止する。

◆南三陸町の佐藤町長は27日に環境省を訪れ、亀澤局長に志津川湾の藻場を「ラムサール条約」の登録の国内候補地として、申請するよう申し入れた。ラムサール条約の要件はほぼ満たしていると話す。

南三陸町と気仙沼市の復興の進捗と問題を比較して見れます。

3月の出来事

気仙沼市

気仙沼市岩井崎沖でカレイの刺し網で人骨が発見された。DNA鑑定により、東日本大震災で不明となっていた本吉町沖の田の小野寺さん(震災時73才)と、気仙沼市波路上野田の三浦さん(66才)と身元が判明した。

◇気仙沼魚市場で127.2㌦の本まぐろに約203万円の値が付いた。キロ単価は1万6千円だった。

◇気仙沼市大島に建設される「ウェルカムターミナル」は公設民営で、事業展開する計画案がまとまった。

◇気仙沼市立病院は11月2日開院と決まった。患者移送、救急は1日早く始まる。病床は340床(うち感染4床)で、無料駐車場は730台とした。

県議会に「食品衛生法施行条例の改正案」が上呈され、一定の条件をクリアすれば、仮設店舗での生鮮魚介の販売が解禁へと向う。これにより唐桑町での「リアス牡蠣まつり」の関係者が喜び、期待をしている。

◇気仙沼市の松岩寺で、山門にあった樹齢200年の松を伐採。跡地に震災犠牲者七回忌と開山80年にあたり、観音菩薩を建立した。

気仙沼市は新年度から、結婚への支援事業として婚姻届を受理され所得証明提出で、夫婦合わせ340万円未満である事が条件で、一世帯24万円を上限に申請方式で支給する。市は経済的な理由で結婚に踏み出せない事が多いことから、結婚を後押ししたい考えだ。

◇気仙沼市医師会の付属高等看護学校の卒業式にあたり、41回生21人(男6女15)が看護師としての門出となる。

◇気仙沼市は国の緊急雇用を年度内で終了する。庁舎や民間事業委託など延べ430事業で計4523人を雇用し、人件費などの事業費は総額43億6900万円に上る。

◇第28回読書感想画中央コンクール(全国学校図書協議会)で、新城小6年の小島さんが文部大臣賞を受賞した。独創的な「さかさ町」と題した画の表現が評価された。

気仙沼市の東日本大震災の2017年2月末現在で、死者は1245人、行方不明者は218人となっている。集約が進む仮設住宅は、入居率が30%を切った。人口は65762人(震災前74247人)と、被災前から14%が減少し、少子化や子育て対策が急務となっている。

◇気仙沼市は「仮設住宅入居者サポートセンター」の4カ所のうち、2カ所を本年度で廃止へ。

2011年11月からオープンし復興ボランティアでにぎわった「復興屋台村気仙沼横丁」が、20日閉鎖された。開村から5年4カ月で幕を閉じる。閉村式では感謝の気持ちを込め風船を飛ばした。

◇気仙沼地方人材確保会議で、小規模水産加工業者が書類作成まで手が回らず、助成金申請で格差が発生していると報告された。

気仙沼市大島の「大島医院」の医師不在の募集に、気仙沼出身の千葉県船橋市在住の森田良平医師(52)の6月着任が内定したと発表した。2年後に迫った「大島架橋完成」を前に、再び無医村になる事が回避された。

◇気仙沼市の待機児童が当初見込みの9人から、0～2歳児で24人となり、2.7倍となった。原因は保育士不足などで、受け入れ枠の拡大で対応していく。

◇気仙沼市唐桑沖で23日午前9時に、唐桑支所所属の第1信盛丸(4.9トン)が転覆し、1人が死亡し2人が不明となっている。

気仙沼本郷の一般社団法人コ・エルは、市内初となる障害者の就労継続支援(A型)事業所の7月オープンに向け、準備を進めている。障害者がサポートを受け調理や接客をし、ランチを提供する。「本郷食堂」として6人を雇用し、営業は火曜日以外で午前11時から午後4時30分までとし、客席は18席設ける。

◇気仙沼市の40年間の総合管理計画を策定し、道路や学校などの公共施設、更新の方向性をまとめ、約2800億円と試算し年70億円の負担が生じる。欠かせぬコスト意識の元で、更新に年54億円が必要となる。

◇気仙沼向洋高校の機械技術科2年生35人が、金属加工の技能検定で全員が合格した。開校以来の初の快挙で、復興の即戦力として期待されている。

気仙沼大島大橋が、29日にメインのアーチが橋中央部に設置された。橋中央部は延長228mで重さは2700トンにも及ぶ、県勢発展計画から50年が経過した。29日架設されたことで「気仙沼大島大橋」となった。大島の住民にとっては、長い間の念願が叶った。

南三陸町人口の推移

(平成29年2月末現在)

	南三陸町	志津川	戸倉	入谷	歌津
22年3月	17,815	8,294	2,433	1,907	5,181
23年3月	17,064	7,823	2,296	1,884	5,061
29年2月	13,504	5,409	1,541	2,066	4,488
増減数	-4311	-2885	-892	+159	-693
増減率	-24.2%	-34.8%	-36.7%	+8.3%	-13.4%

※ 東日本大震災での南三陸町の2017年2月末現在の死者600人(関連死除く)、行方不明者212人となっている。